

シックスクール・化学物質過敏症に関するアンケート結果 No.1

このアンケートは全国の会員の皆さまの協力によって行なわれました。

おかげさまで 303 名の方のご意見を集計することができました。

結果は、5回にわたって報告させていただきます。

1、回答者内訳

性別・年代	男	女	20代	30代	40代	50代	60代	計
一般	12	94	3	20	55	22	6	106
教員	15	51	7	15	34	10	0	66
合計	27	145	10	35	89	32	6	172

年代	男	女	合計
幼児～小6	33	45	78
中1～大学	26	27	53
合計	59	72	131

【日頃気になる症状は？】

大人の症状ベスト5

- 1位 鼻炎症状
- 2位 疲れやすい
- 3位 乾燥肌
- 4位 目のかゆみ
- 5位 頭痛

子どもの症状ベスト5

- 1位 鼻炎症状
- 2位 目のかゆみ
- 3位 乾燥肌
- 4位 体のかゆみ
- 5位 視力の低下

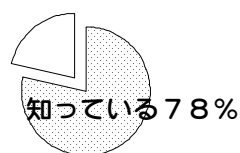
検査結果は私たちに教えてください。



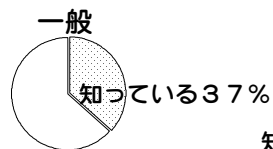
2、認知度

- ①シックスクールということばの意味を知っている方は、78%
- ②学校で検査をしていることを知っている・・・一般39人/106、教職員56人/66
- ③その結果を知っている・・・一般20人/106、教職員34人/66
- ④臨時の空気検査を受けられることを知っている・・・一般18人/106、教職員21人/66
- ⑤子どもは、検査をしていることもその結果も殆ど知りませんでした。

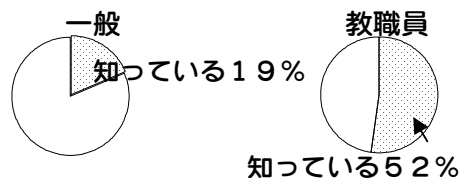
ことばの意味を



検査をしていることを



検査結果を



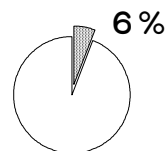
- ・7年前には殆ど知られていなかった『シックスクール』ということばも今では約8割の方が知っていると考えています。当時は、学校職員でも検査をしていることを知らない人が殆どでした。
- ・教育委員会から学校長へ、①職員のシックスクール教育や②保護者に検査結果を通知するなどの指導がされていますが、十分ではないようです。職員会議、学校便りで周知をお願いします。
- ・臨時検査については教職員自体知らない人が多く十分活用されていないようです。
- ・子どもたちへ、健康被害を防ぐためにもこの検査のことを是非話してあげてください。

3、職場環境

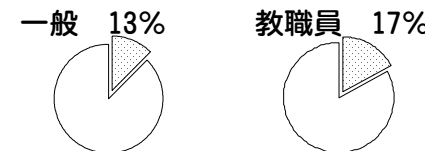
- ①職場で体調を崩す人・・・一般3人、教職員6人(それが原因で退職した方一般・教員1人ずついます)
- ②体調を崩す季節・・・冬や春、週明けなど
- ③参観日などで体調を崩す人・・・一般13人/106、教職員11人/66
- ④職場でワックスを塗っている・・・一般24人/106(わからない14)、教職員31人/66(わからない16)
- ⑤職場で合成洗剤や化学雑巾を使用・・・一般35人/106(わからない55)、教職員25人/66(わからない19)
- ⑥職場に芳香剤の設置している・・・一般25人/106、教職員10人/66

- ⑦職場で手洗いに合成せっけんや薬用せっけん、アルコール使用・・・一般41人/106、教職員22人/66
- ⑧ボンドや油性マジックで体調を崩す・・・一般22人/106、教職員7人/66
- ⑨版画、粘土授業で体調を崩す教職員はいませんでした。
- ⑩職場で窓開け換気している・・・一般40人/106、教職員42人/66

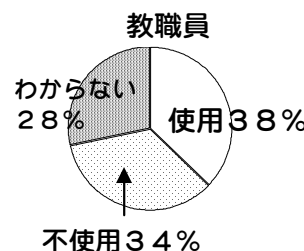
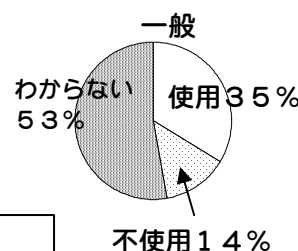
職場で体調を崩す



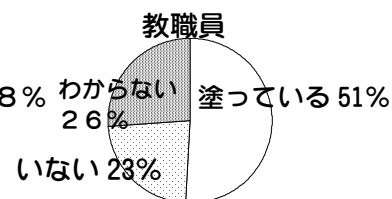
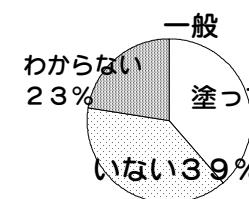
参観日・学芸会などで体調を崩す



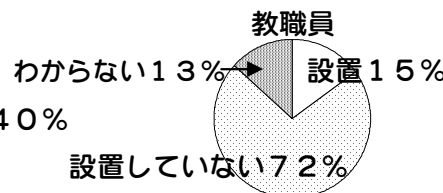
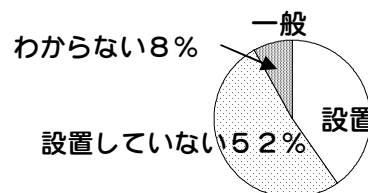
職場で合成洗剤や化学雑巾を使用



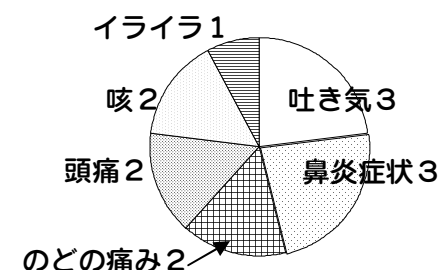
職場でワックスを塗っている



職場に芳香剤の設置



職場での症状



- ・職場(学校含む)で体調を崩す時期は、換気の不十分な冬や春、休暇(連休)の後が多いようです。
 - ・参観日に体調を崩す方がいるのは、やはり他人の付けているニオイが主な原因でした。一部の人であっても、化粧品や衣類の柔軟剤、防虫剤、コロンなどのニオイに反応して苦しんでいる人がいることを理解してください。「微香性」も集まれば強烈な異臭。使っているあなた自身にも有害です。
 - ・職場での合成洗剤、化学雑巾の使用は4割弱ですが、「わからない」と答えている方が多く関心のなさがうかがえます。揮発し空気を汚していることを知ってください。手洗いも掃除も「純せっけん」に替えましょう。有機化合物判別表で安全に使える第1群に入るのはせっけんだけ。合成洗剤は、皮膚への刺激性あり。動物実験で胎仔の骨格異常、奇形の報告があります。身の回りの殺菌剤の乱用で、常在菌の減少による皮膚バリアーの劣化、自己免疫力低下、虚弱体質になることが心配されます。手洗いは、流水によるすすぎ15秒で、ウイルスが100分の1に減るそうです。一般の会社や学校で、薬用せっけんや消毒用アルコールは不要です。
 - ・学校でのワックス使用は約半数。ワックスの成分と塗る時期、塗ったあとの換気には十分注意を。
 - ・学校での芳香剤(消臭剤)、トイレボールの使用は、禁止のはずですがまだ使用している学校があるようです。パラジクロロベンゼンは、肝臓・腎臓への影響、発がん性があり、花粉症を悪化させます。学校に限らず設置はやめましょう。
 - ・特に換気扇のない学校では、冬も窓開け換気を。(2回以上/時間)
- ※ 今回の調査で、職場で体調を崩しやむなく退職された方が2名、化学物質過敏症を発症された方が1名いることがわかりました。

4、学校 児童生徒 131人 以下「子」と表記

① 学校内で体調が悪くなる場所がある子は・・・13人/131

【その場所】・・・トイレ、教室、埃っぽい所、体育館

授業で体調を崩す子は・・・8人/131

【その教科】・・・図工、音楽、理科など特別教室を使う授業でした。

版画、粘土授業で体調を崩す子は・・・2人(幼児、小学生低学年ははずす)

② 体調を崩す季節・・・夏休み明けが一番多く、次が1学期、週明けと続きます。

③ 参観日に体調を崩す子・・・10人/131

④ ボンドや油性マジックで体調を崩す子・・・12人/131

⑤ 学校でワックスを塗っている・・・25人/131(わからない94)

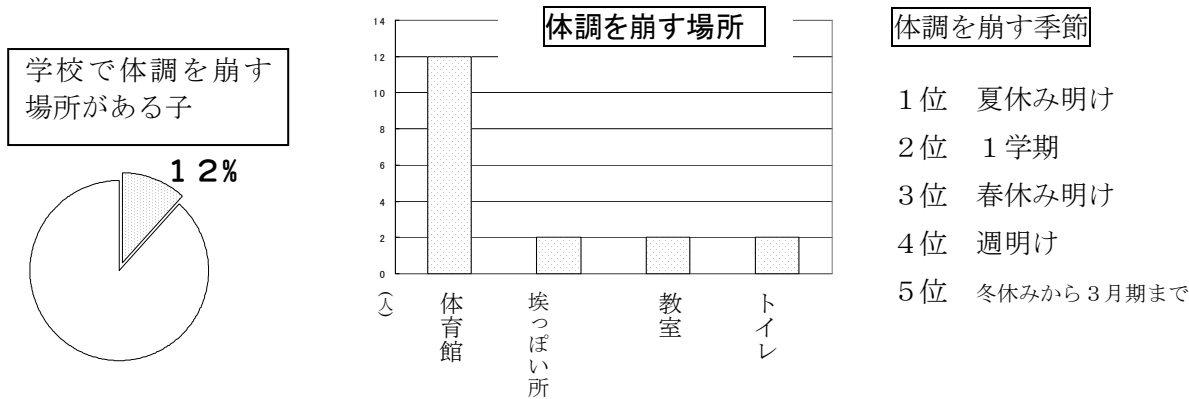
⑥ 学校で手洗い用に合成せっけんや薬用せっけん、アルコールを使用している・・・19人/131(わからない61)

⑦ 学校の掃除は、化学雑巾や合成洗剤を使用している・・・12人/131(わからない86)

⑧ 学校のトイレに芳香剤、脱臭剤など置いてある・・・11人/131(わからない39)

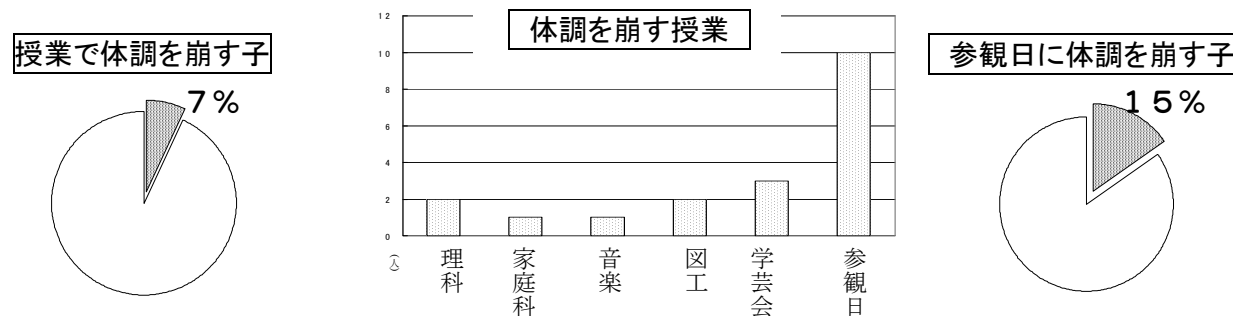
⑨ 版画や粘土で体調を崩した・・・2人/131

⑩ 学校で窓開け換気している・・・85人/131

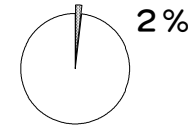


・学校内で体調が悪くなる場所に、市民プールや私営のプールをあげた人もいました。一般のプールは学校のプールより塩素の濃度が高いのでしょうか。室内プールでは、積極的に換気をしてもらいましょう。体育館と書いたうち10人は小学生でした。

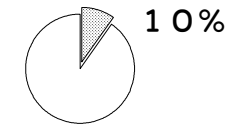
・体調を崩す季節は、ワックス塗布の影響か夏休み明けが多いです。また、気温が高いと有害物質が揮発しやすくなります。1学期、春休み明けは、ワックスの影響、寒いので窓明け換気不十分なこと、新1年生の持ち込む新品のプラスチック製品や衣類、靴などの影響があります。



版画や粘土で体調を崩す



ボンドや油性マジックで体調を崩す



・参観日に体調を崩す子は、1割強。大人も子どもも参観日に人が集まると体調を崩すようです。その原因には、衣類の洗剤や防虫剤成分の揮発、化粧品、香水が挙げられています。あなたが、その原因を作っているかもしれません。

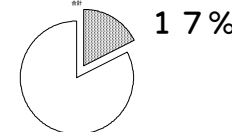
朝日新聞に『授業参観、香水控えて』(09年)という記事が掲載されました。名古屋市瑞穂区の小学校では、『学校通信』に保護者にあて「保護者の整髪料や香水などに反応して息が苦しくなるなどのアレルギー症状がでるようです。鼻やのどを刺激するような整髪料や香水を控えていただくと、大変助かります」と協力を求めています。

・図工、音楽、理科などの授業で体調を崩すと答えた子どもが8人もいました。これらの授業は、特別教室を使用することが多く、特別教室は、換気が不十分になりがちなうえ、特殊な教材が置いてあるためこの学校も空気検査では高い値がでます。授業のないときでも換気をするよう心がけてください。理科では、実験などで使われる薬剤で気分が悪くなる子がいます。窓やドアを開けて実験するようお願いします。新しい教材を購入するときには安全データシートで確認をしてから購入しましょう。また、教材は使う前に箱からだして空気に晒しておくことも大事です。

・版画の版木は、合板なので接着剤からホルムアルデヒドが放出します。呼吸器障害、目やのどの痛みがあらわれます。カラーベニヤには、塗料が使われていて有害物質が揮発します。粘土には防腐剤や可塑剤が使われていて、手の皮がむけたり、乾燥するまでにそれらが揮発し鼻水や咳がでたりします。どちらも一度に大勢で使用すると空気が汚染します。教室展示中も換気が必要です。

・ボンドや油性マジックには、揮発性の有害物質が含まれています。学校祭準備などで使用する際には、窓を開けて換気をしながら使用するようしてください。接着剤に含まれるスチレンは、脳や肝臓への影響や、全身倦怠感を引き起こします。

学校に芳香剤がある



・芳香剤に含まれるフタル酸エステルは、頭痛やめまいをひきおこします。また、男性の生殖に影響を与えていると報告があります。家庭にも芳香剤を置いていると、子どもたちは日常的に汚染された空気の中にいることになります。

・⑤⑥⑦⑧など「わからない」という答えが多いです。自分たちが生活している場の空気を汚している製品について、無関心、無知であることは健康管理上心配です。学校生活の中で折に触れて改善、話し合いを持ちましょう。普段から換気の必要性を伝え、学校では窓あけ換気100%を目指したいです。

・「シックスクール対応」と書かれたワックスの可塑剤に有機リンが使用されていたことがあります。トルエン、キシレン、ベンゼンなどは、吐き気、頭痛、めまいなどの症状の原因になります。安全データシートで内容の確認を。

学校での取り組み紹介

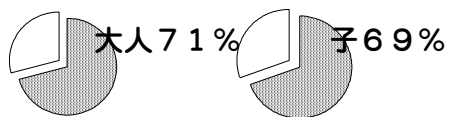
江別市立江別第二中学校(生徒数394人)では、化学物質が原因で、アトピー性皮膚炎やぜんそくなどになる化学物質過敏症の生徒をださないシックハウス対策として、9年前からワックスの代わりに米ぬかで床を磨いている。同校のもう一つの取り組みが、トイレや水飲み場の清掃に化学洗剤を使わず、EM発酵液を利用。汚れもしっかり落ち、化学洗剤と性能は変わらないという。全校集会の中でも生徒に説明して保護者も安心とのこと。(毎日新聞)

『霧が丘第三小学校のHP』には、教材やワックスのほか校内の取り組みがとてもわかりやすく紹介されています。

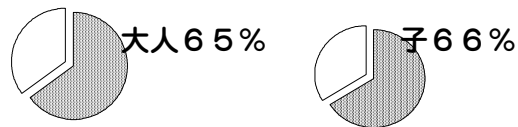
5、家庭

- ①家で香りのするシャンプー使っている…**大人126人/172、子82人/131**
- ②家で香りのする合成洗剤、柔軟剤を使っている…**大人111人/172、子70人/131**
- ③家で芳香剤を使っている…**大人65人/172、子48人/131**
 芳香剤のニオイで体調を崩す方…**49人/172、子不明**
【症状】 吐き気、のどの痛み、咳、鼻炎症状、頭痛、舌や唇のしびれ、だるい
【芳香剤を置いている場所】 1位トイレ、2位車、3位玄関、4位居間（家中あるに1人）
- ④家の中で防虫剤や殺虫剤の使用…**大人30人/172(わからない15)、子25人/131(わからない22)**
- ⑤家庭菜園で農薬の使用…**大人18人/172(わからない14)**
- ⑥プラスチックや新品製品で体調を崩す…**大人41人/172、子24人/131(わからない14)**
【原因製品】 合成皮革やビニール製のバックや靴・プラスチック製品全般
【症状】 のどの痛み、咳、目が痒くなる、鼻炎症状、頭痛、吐き気、舌や唇のしびれ、不快感

香りのするシャンプー使っている



香りのする合成洗剤、柔軟剤を使っている



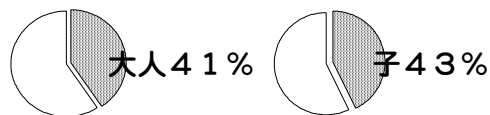
・CMの影響か香りのする合成シャンプーやリンス、合成洗剤、柔軟剤を使っている人が多いです。子どもには使わせていないが、大人が使っているという家庭が多くありました。合成洗剤類には、約30種類もの化学物質が使われ、発ガン性や環境ホルモンの疑いのあるものもあります。合成界面活性剤は、皮膚にすばやく浸透し体内に蓄積されて皮膚障害や内臓障害などを起こすことがあります。抜毛・薄毛・フケ・かゆみ・白髪などの原因は、ストレスや栄養などがあげられますが、この合成シャンプーも原因のひとつです。

・柔軟剤は、川や海の微生物を死滅させ環境を破壊します。衣類の吸水性が悪くなり、皮膚疾患を発生し、体温調節も上手くいかなくなります。アレルギーや喘息を起こし重症化させます。

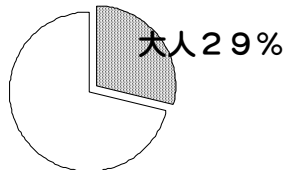
・最近では洗剤や柔軟剤のニオイで空気が汚染されています。これらのニオイで具合が悪くなると記入した子どもや大人がいます。

・合成洗剤(シャンプー類も含めて)の使用をやめ、純せっけんにかえませんか。掃除も洗濯も入浴も食器洗いも全部“せっけん”ひとつでできるのです。子どもたちのために、せっけん生活始めましょう。

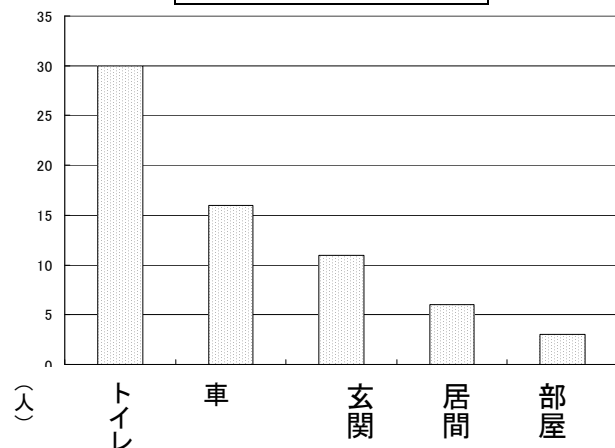
家で芳香剤を使っている



芳香剤のニオイで体調を崩す



芳香剤の置いてある場所



・芳香剤は車など密閉された空間、高温になるところには絶対に置かないようにしましょう。車内のタバコのニオイを消すために置くと、複合汚染になり有害度が高まります。芳香剤で体調を崩す人が多いにもかかわらず、使用している人が多いことが気になります。体調を崩している原因が、芳香剤にあることに気づいていない人も多いようです。ニオイは慣れてくるとわからなくなります。慢性毒性も心配されます。

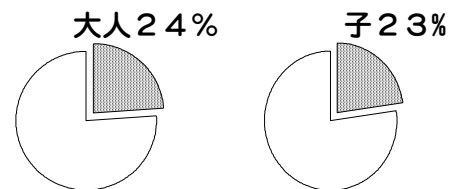
・芳香剤や化粧品に使われているフタル酸エステル類の汚染は広範囲で、特に20～40代の女性に多いことがわかっています。フタル酸エステル類は、男の赤ちゃんの生殖器の発達への影響や、ぜんそく、鼻炎、湿疹にも関連している可能性があることがわかってきました。

・フタル酸エステル類はプラスチックの重要な要素として多くの商品に使用されていますが、問題は、これらが含まれていることを表示していないことです。欧米では、おもちゃと子ども用品中のフタル酸類を制限しており、欧州は一部のフタル酸を化粧品に使用することを禁止しています。

・人工的なニオイは、消えづらいうえに、空気を汚している(有害)ということを認識してください。香りは、鼻で受けた刺激が直接脳に伝わり、神経などに強く作用します。いい香りと言われる物質でも、濃度や環境、人によっては苦痛を感じずる人もいます。

※玄関やトイレのニオイが気になる方は、ガラスのビンに重曹を入れ、お好みのエッセンシャルオイルを数滴加えます。(重曹100gに対してオイル1～2滴)さらに上から重曹を重ね、そのままトイレや下駄箱の中へ。下駄箱のニオイは、扉を開け放しての換気と、こまめな掃除を。

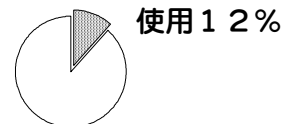
プラスチックや新品製品で体調を崩す



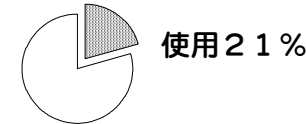
・プラスチックには、多種多様な安定剤や可塑剤が添加されています。可塑剤は主に、塩化ビニールなどのプラスチック類をやわらかくするために使用されます。おもちゃや室内のクロス、フローリングなどの加工にも使用されています。これらは、空気中にただよって、呼吸によって吸収されます。ホルムアルデヒドと同様に、呼吸器障害、目やのどの痛みがあらわれます。発ガン性のある物質もあります。プラスチック製品を購入後は、換気、天日干し、水拭きを。

・①～⑥の商品は、アトピー性皮膚炎や喘息、化学物質過敏症を誘発、悪化させる物質です。
 ・CMでは制汗剤も消臭剤も殺虫剤も防虫剤もスプレー式のもの、人前で平気で吹き付けていますが、絶対にやめましょう。室内で使ったら必ず換気。

家庭菜園で農薬を使用



家の中で防虫剤や殺虫剤を使用



・有機リン系農薬に代わってネオニコチノイド系の農薬が主流になってきました。この農薬は、根から吸収されるため洗っても落とすことができません。ミツバチの大量死の原因農薬です。アリの巣コロリやコバエとりなど身近な商品にも入っています。子どもたちの未発達の脳神経系への影響、心臓など循環器への影響が心配されています。

・ほとんどの殺虫剤はピレスロイド系の薬剤が主流です。ピレスロイド系は、天然の除虫菊に含まれるピレトリンに似た物質として人工的に開発されたもので、農薬としても使われている物質です。眼、皮膚、気道への刺激などの急性毒性のほか、慢性毒性も心配されます。農薬成分はペットのみとり剤や掃除機のゴミパックなどにも使われています。少なくとも家の中では殺虫剤や農薬成分は使用しないこと。成分表示を確認して購入しましょう。

シックスクール・化学物質過敏症に関するアンケート結果 No.4

6、公共の場

①公共の施設、病院、会館、映画館などで体調を崩す…**大人61人/172、子11人/131**(わからない15)

【場所】 会議室、コンサート会場、映画館、ダンスホール、集会所、授業中の教室、学校、体育館
【原因物質】 香水・整髪料などの化粧品類のニオイ、柔軟剤、タバコなど衣類に付着しているニオイ
【症状】 だるさ、イライラ、目がチカチカする、目やのどの痛み、声がかすれる、鼻炎症状、吐き気、頭痛、落ち着かない

②新築の家、新車、100円ショップなどで体調を崩す…**大人58人/172、子26人/131**(わからない15)

【場所】 ・新車・家・デパート・靴の量販店・100円ショップ・化粧品売り場・カー用品売り場・ドラッグストア
 ・洗剤売り場・DAY売り場
【症状】 目が痒くなる、咳、鼻水 他①の症状と同じ

③ホテルや旅館で体調を崩す…**大人9人/172、子9人/131**

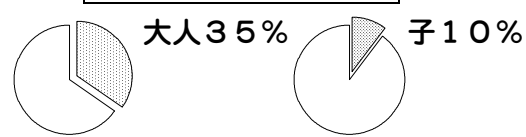
【原因物質】 室内やトイレの芳香剤、タバコのニオイ、洗剤(消毒剤)のニオイ
【症状】 吐き気、鼻詰まり、のどのイガイガ、咳、目がかゆい

④バスや電車などで体調を崩す…**大人23人/172、子24人/131**

1位・バスやタクシー(ガソリンのニオイ、タバコと芳香剤のニオイ、隣に座った人の化粧品のニオイなど)
 2位・飛行機 電車は0人

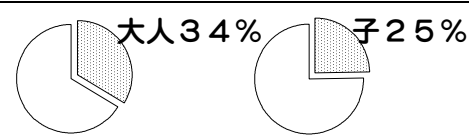
【症状】 鼻水、のどのイガイガ、咳、吐き気

公共の施設で体調を崩す



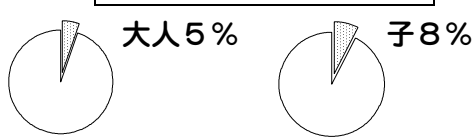
原因 消毒やワックス、洗剤のニオイ、柔軟剤、タバコなど衣類に付着しているニオイ、香水・整髪料などの化粧品類のニオイなど

新築、新車、100円ショップなどで体調を崩す



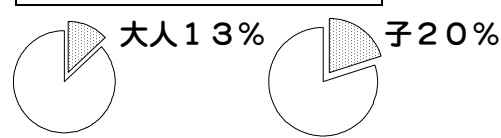
原因 建材、壁紙、カーテンなど、車内装飾品、プラスチックカバー、商品全般

ホテルや旅館で体調を崩す



原因 室内やトイレの芳香剤やタバコのニオイ、洗剤(消毒剤)のニオイ じゅうたんの微臭いニオイ

バスや電車などで体調を崩す



原因 ガソリンのニオイ、タバコと芳香剤のニオイ、隣に座った人の化粧品のニオイなど

・不特定多数の人が集まる場所は、消毒が行なわれ、強い洗剤が使われていることが多いです。さらに、換気のできない閉ざされた空間では、個人が身に付けているもの(香料含む)から揮発する化学物質により空気は想像以上に汚れています。施設を管理する人は、 unnecessaryな消毒をやめ換気の徹底を。また、利用する人は、マナーとして、ニオイの強い柔軟剤や化粧品(香水含む)を控えるようお願いします。

・新築の家や新車には、内装の接着剤や塗料が揮発せず残っています。購入は窓開け換気ができる春に。
 ・プラスチック商品、衣類からは、有害物質が揮発しています。換気の悪いお店には行かない。買ったなら、洗えるものは洗濯をすること。できない物は、外で風にあてる。

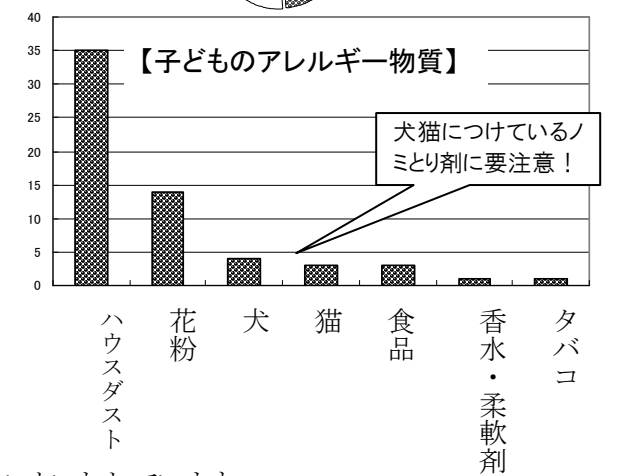
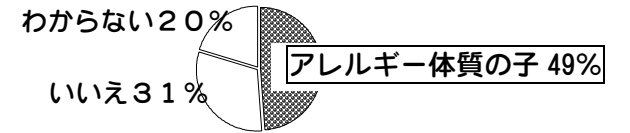
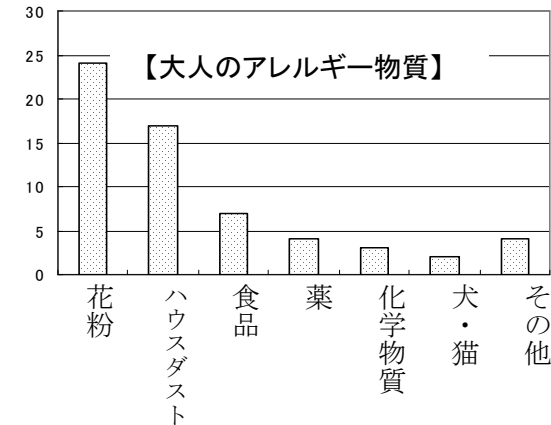
・宿泊施設は合成洗剤や塩素系の漂白剤を使用して掃除をし、定期的に消毒もしています。旅館・ペンションなどではトイレや玄関に芳香剤が置かれ、ホテルでは室内(テレビの裏など)に芳香剤が置かれていることがあります。毎回ファブリーズを使用しているホテルも。ちなみに、帝国ホテルでは、「快適なサービスを売る」として、従業員の香水使用を禁止しているそうです。

・公共の乗り物は定期的に消毒をしています。飛行機にはたくさんの難燃剤が使用されています。バスや飛行機は一度座ると移動ができません。香水などは使用しないマナーを。

7、アレルギー

①アレルギー体質の方…**大人74人/172(一般49人、教員25人)、子60人/131(わからない25)**

②アレルギー物質…**大人(1位花粉、2位ハウスダスト、3位食品)**
子(1位ハウスダスト、2位花粉、3位犬や猫)



・アレルギー体質の方は、化学物質過敏症になりやすいといわれています。

8、化学物質に敏感でしょうか

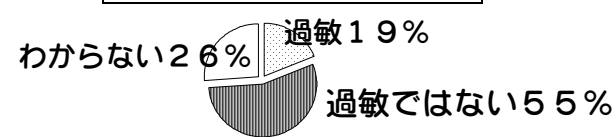
①過敏だという方…**大人31人/172(わからない43)、子7人/131(わからない62)**

【どのような場所や状況で敏感だと感じましたか】

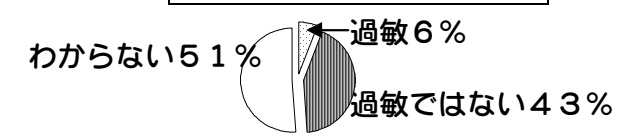
ドラッグストア・薬局・洗剤売り場などで、タバコを吸う人のそばで。タクシーの中がタバコと芳香剤のニオイで充満して咳が止まらなくなった。プールで。学校内で。音楽室で。図書館で隣の人から柔軟剤のニオイがして鼻水がではじめた。飛行機で。エレベーターの中で。人ごみで。トイレで。祝い返しの洗剤セットの箱のにおいて。コンサートで四方から香水や衣類の防虫剤や柔軟剤やらのニオイがして吐き気がした。防虫スプレーで皮膚が痒くなった。ベープマットを使ったらのどがイガイガして咳が止まらなくなった。 ※反応した物質、症状は下表

②あなたのまわりに過敏症の人はいますか(多分も含めて)…**大人47人/172、子20人/131**

化学物質に過敏な大人 19%



化学物質に過敏な子ども 6%



・上記の場面や症状をくり返していると、化学物質過敏症に移行してしまふことがあります。過敏症は、スポーツマンも健康に自信のある人も誰でもなる可能性があります。普段から有害な化学物質を使用しないように気をつけましょう。特に小さな子どもがいる場合注意を!

過敏な物質

大人 芳香剤、柔軟剤、化粧品類、合成洗剤、プラ・ビニール製品、タバコ、シンナー、塗料、家具や建材、ベープマット(蚊取り線香)
子ども 芳香剤、柔軟剤、香料全般(化粧品類含)、塩素系漂白剤、タバコ、シール剥がし剤、油性マジック、塗料

過敏症状

吐き気、目やのどの痛み、鼻血、鼻がムズムズ、鼻水がでる、頭痛、のどがムズムズ、咳が止まらなくなる、手足のしびれ、声がかれる、だるさ、イライラ
大人も子どもも過敏物質上位に芳香剤や柔軟剤、香料(化粧品類)がはっています。

シックスクール・化学物質過敏症に関するアンケート結果 No.5

9、環境を汚染すると思う商品、使用をやめたほうが良いと思う商品は？

各種合成洗剤、柔軟剤、漂白剤カビとりハイター(トイレタンク洗浄剤含む)、薬用せっけん、入浴剤、合成のシャンプーやリンス、消臭剤(ファブリーズやリセッシュなど)、芳香剤、制汗剤、撥水スプレー、ウインドウォッシャー液、消毒用アルコール、農薬全般、殺虫剤、防虫剤(虫よけスプレー含む)、生理用ナプキン、プラスチック製品、ワックス、トイレの洗剤、蚊取り線香、ダウニー、商品のパッケージ、ヘアダイ、タバコ(殆ど子どもが書いています)、アスベストを使用した家、香水、ナノ商品、商品ではないがゴルフ。

子どもから

「使っているけど、香りのするものは良くないと思う」(9歳) 「毛染め」(16歳) 「はみがきこ」(12歳)
「合成洗剤、タバコ、除光液」(12歳) 「人工的に作ったもの」(12歳)
「カビキラーは有毒なおいがする」(6歳) 「ニオイのきつい香水や合成洗剤」(17歳)
「ガンリン車」(18歳) 「ファブリーズ」(18歳)

大人から

「ゲオのレンタル袋が臭って、鼻水や涙目に！香料入りのファブリーズを使用したようです。こんなもので反応するとはびっくり！」(小樽市30代)
「合成洗剤は、環境ホルモンが河川や海を汚染する」(小樽市40代)
「柔軟剤は皮膚に浸み込んでいくし、本人以外にも影響する」(小樽市40代)
「便器の黄ばみをとる洗剤を重曹や酢を使ったものに変えてみたが、汚れ落ちやニオイが不評で、不本意ながら以前使っていたものに戻しました。掃除の仕方等工夫して、洗剤を使わない又は最小限でうまく落とす方法を見つけないかと思っています」(北海道内40代)
「ファブリーズが悪いとは知らなかったです」(小樽市40代)
「洗剤や柔軟剤の香りは、体調を崩すほどではないが、不快に感じる」(小樽市30代)
「市販の防虫剤と私が使っているシャンプーや洗剤」(北海道内20代)
「仏壇の線香」(小樽市40代)
「以前は、洗濯に柔軟剤を使っていたのですが、原液のおいぎきついと思っていました。仕上がった洗濯物のおいぎききになりませんでした。最近は、先生に教えていただいた洗濯の粉せっけんを使って柔軟剤は使わなくなりました。快適です」(小樽市30代)
「もちろん芳香剤！郵便局に入ると芳香剤のおいぎきして気持ちが悪くなる。ブックオフのレジ横にも芳香剤が置いてあり、置かないでと言ったら店長が置くんですと言われた」(北海道内50代)
「ダウニー。しかし、香りが好きでやめられません……。」(小樽市40代)
「医療機関で使うような殺菌力の強いせっけんやアルコール類を、学校や家庭で使うのはやめたほうが良いと思っています」(小樽市40代)
「学校の花壇には、農薬を使用しないでほしい。酢や牛乳などを使った安心な物を使う工夫を」(北海道内40代)
「制汗剤やムース、コロンなど中高生に使うのをやめさせたいが、CMの影響が大きすぎて親の言うことは聞かない。自分にも他人にも害のあるこんな商品がどうして堂々と売られているのでしょうか」(北海道内40代)

アンケートにでてきた商品は、アレルギーを誘発したり、悪くしたりします。それらの商品を使っている人は、自分や家族の症状がその商品に関係しているかもしれないと考えてみてください。

その商品はあなたにとって便利だったり、癒される香りだったりしても、そのために空気が汚れ、外出できない人がいることも知ってください。

最後に、私たちが何気なく使っている商品が、森や川や海を少しずつ壊し、虫や鳥たちを苦しめていることに気づいてください。アンケートにご協力ありがとうございました。

